

# 2024年2月期第2四半期 決算説明会 書き起こし記事公開について

2023年10月25日に開催された決算説明会の書き起こし記事を  
下記URLよりご覧いただけます。

[ログミー 書き起こし原稿はこちら](#)

[YouTube 動画はこちら](#)



2024年2月期第2四半期 決算説明会資料は次頁以降に掲載しております。

# 2024年2月期第2四半期決算 決算説明会

---

株式会社ミスターマックス・ホールディングス  
(証券コード：8203)  
2023年10月25日



●本資料に記載されている将来の業績に関する見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が独自予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。また、本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

# 2024年2月期 累計業績ハイライト

■節約意識の高まりから食品やPB商品が好調だった

■コロナ関連商品の売上減に伴う荒利益率の低下と経費増により営業減益となった

単位：百万円	23年2月期 第2Q実績	24年2月期 第2Q実績	前期比	24年2月期 第2Q計画 注2	計画比
営業収益	63,952	<b>65,524</b>	<b>102.5%</b>	64,700	<b>101.3%</b>
<b>売上高</b>	61,480	<b>62,976</b>	<b>102.4%</b>	62,300	<b>101.1%</b>
売上総利益	14,199	<b>13,837</b>	<b>97.4%</b>	-	-
<b>(荒利益率) 注1</b>	23.1%	<b>22.0%</b>	<b>▲1.1%</b>	-	-
不動産賃貸収入	1,915	<b>1,918</b>	<b>100.2%</b>	-	-
その他の営業収入	556	<b>628</b>	<b>112.9%</b>	-	-
営業総利益	16,671	<b>16,384</b>	<b>98.3%</b>	-	-
<b>販売費及び一般管理費</b>	13,900	<b>14,484</b>	<b>104.2%</b>	-	-
<b>営業利益</b>	2,771	<b>1,899</b>	<b>68.5%</b>	2,100	<b>90.4%</b>
経常利益	2,707	<b>1,851</b>	<b>68.4%</b>	2,000	<b>92.6%</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,832	<b>1,196</b>	<b>65.3%</b>	1,300	<b>92.0%</b>

注1 荒利益率 売上総利益÷売上高

注2 計画は決算短信および決算参考資料で開示項目のみを記載

# 営業利益の増減要因

荒利益高の減少

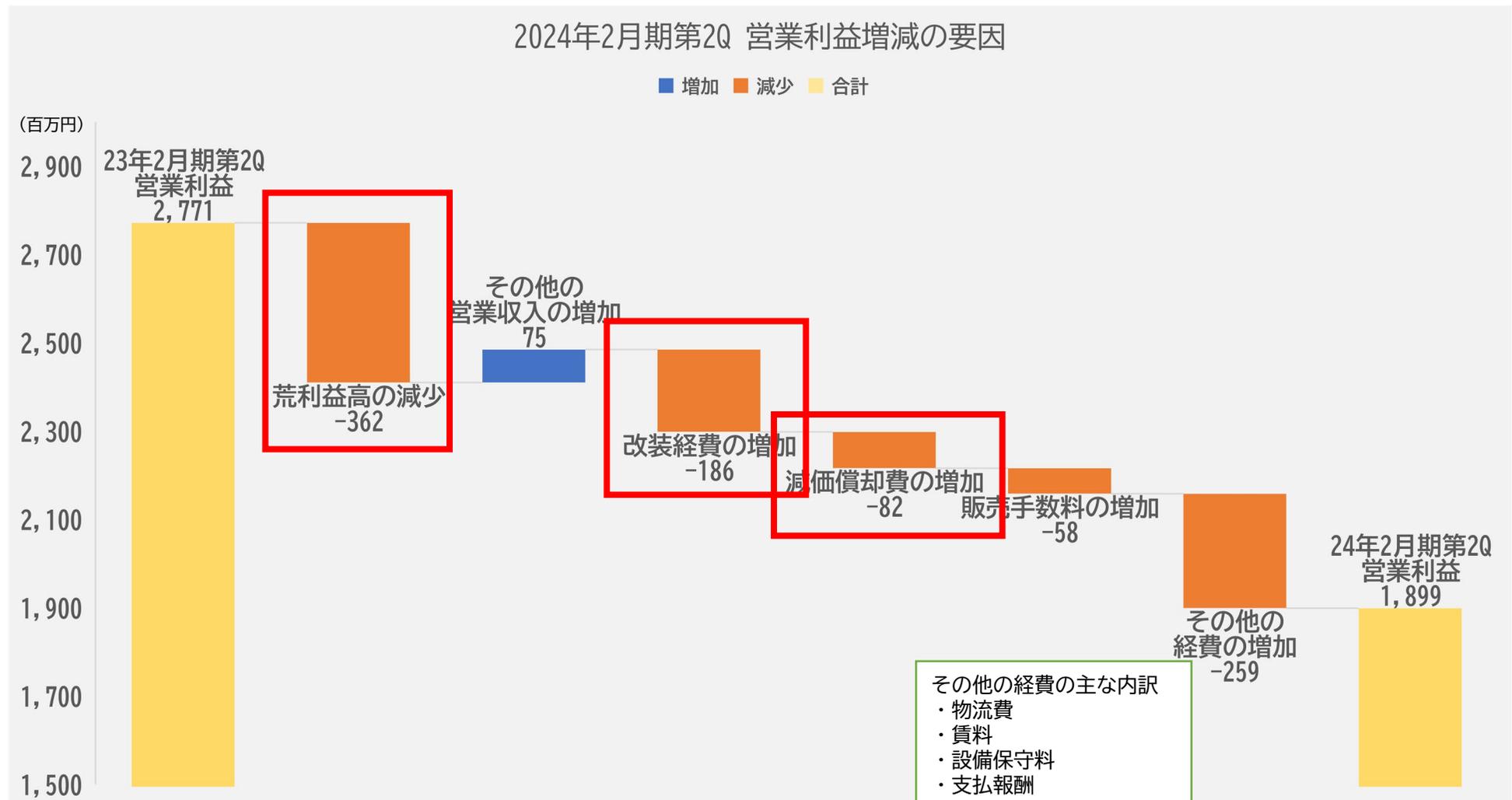
高利益率のコロナ関連商品の売上高が下がった。

改装経費の増加

4店舗改装に伴う経費が発生

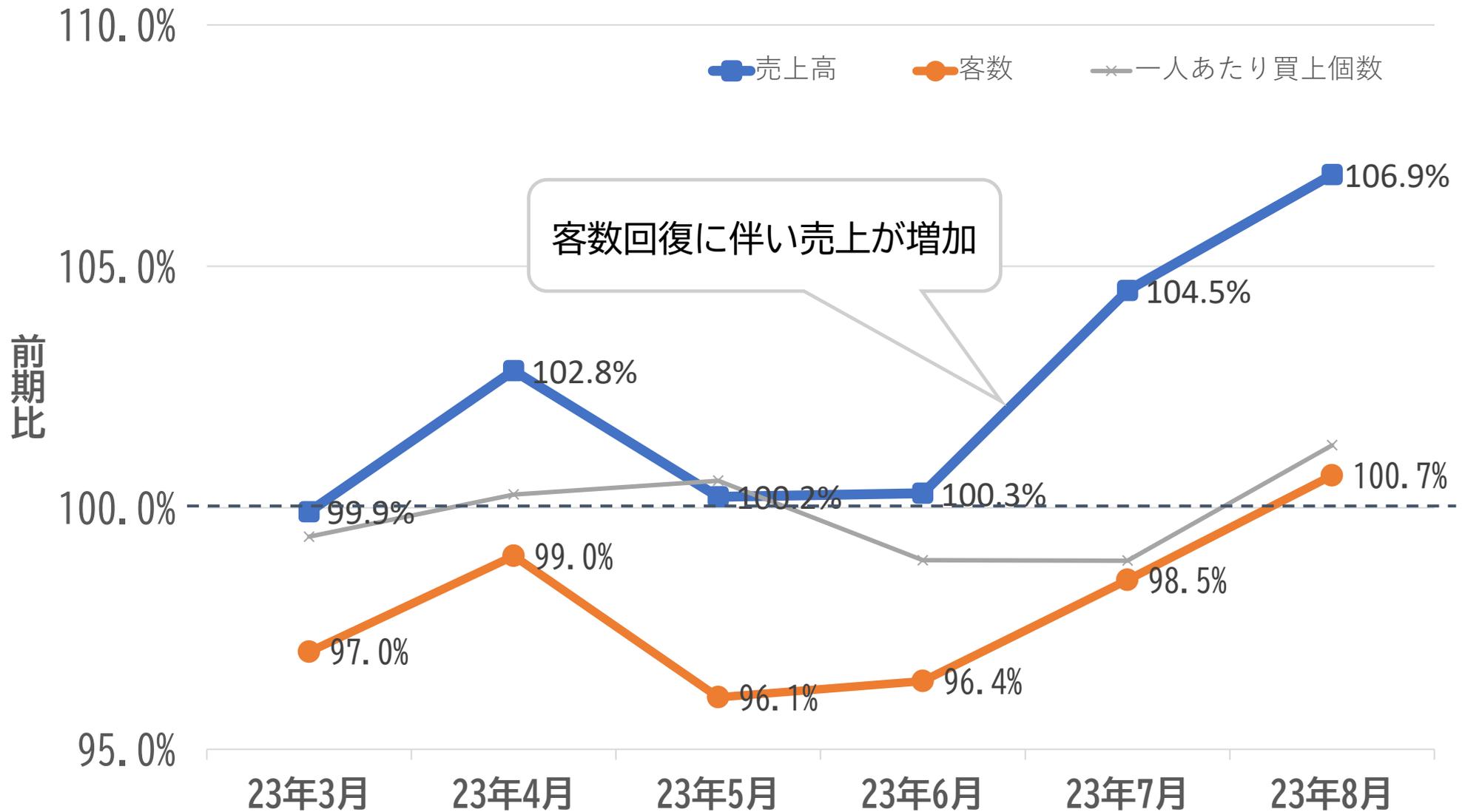
減価償却費の増加

オンラインストアや改装にかかる資産の取得に伴う増加



# 既存店売上高の状況

## 売上高・客数・買上個数の月次推移（前年同月比）



# 部門別売上高の状況

- ・節約意識の高まりから食品の売上が好調だった

(金額単位：百万円)

	23年2月期第2Q			24年2月期第2Q		
	売上高	構成比	前期比	売上高	構成比	前期比
家電部	8,930	14.5%	101.7%	8,712	13.8%	97.6%
アパレル部	3,381	5.5%	100.5%	3,539	5.6%	104.7%
ライフスタイル部	8,751	14.2%	103.4%	8,675	13.8%	99.1%
ホームリビング部	5,644	9.2%	99.2%	5,721	9.1%	101.4%
HBC部	12,922	21.0%	104.3%	13,002	20.6%	100.6%
食品部	21,847	35.5%	99.5%	23,417	37.2%	107.2%
その他	—	—	—	△ 64	-0.1%	—
合計	61,479	100.0%	101.4%	63,003	100.0%	102.5%

(注) 売上高は連結消去前実績

(注) 部門「その他」はアプリクーポン値引き額等

## 好調だった主な商品

<アパレル部>  
キャリーケース、  
シューズ

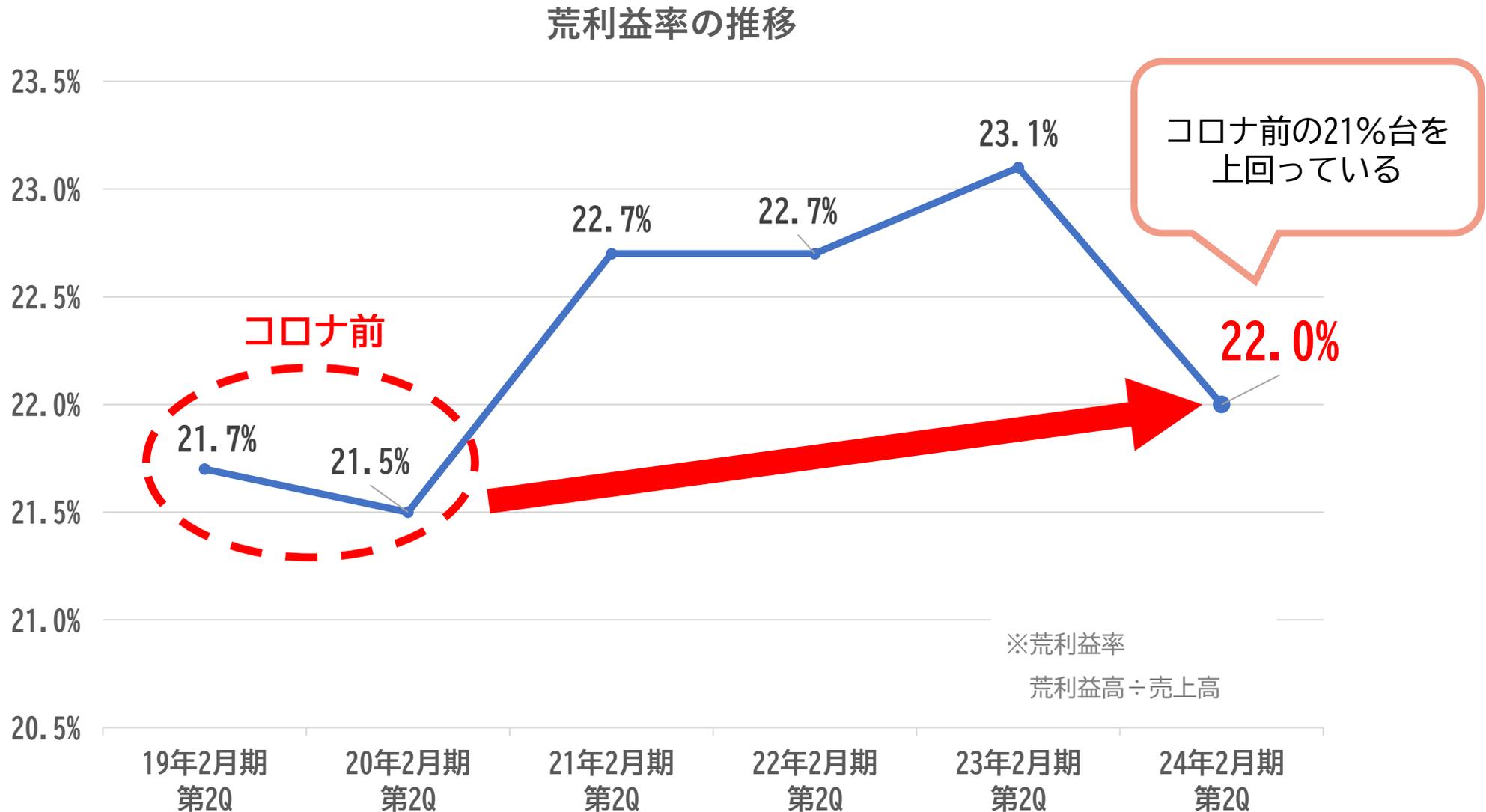
<ライフスタイル部>  
ペット用品

<HBC部>  
紙製品、化粧品

<食品部>  
パン、米、酒、  
ペットボトル飲料

# 荒利益率の推移

- ・ 原価高騰が続く中、荒利益率はコロナ前の水準を上回った
- ・ 日替わり特売の廃止やPB商品の売上構成比の上昇が寄与



# 重点項目の状況と今後の取り組み について

---

# 2024年2月期業績予想 ～ 期初予想を変更せず～

単位：百万円	23年2月期実績	24年2月期業績予想	前期比
営業収益	126,904	129,500	102.0%
売上高	122,107	124,600	102.0%
売上総利益	27,687	28,235	102.0%
(荒利益率(注))	22.7%	22.7%	-
不動産賃貸収入、その他の営業収入	4,797	4,900	102.1%
営業総利益	32,485	33,135	102.0%
販売費及び一般管理費	27,853	29,135	104.6%
営業利益	4,632	4,000	86.4%
経常利益	4,523	3,800	84.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,427	2,500	72.9%
【主な経営指標】			
既存店増収率	+1.6%	+2.0%	
売上高営業利益率	3.8%	3.2%	
出店	なし	なし	
閉店	1店舗	1店舗	
期末店舗数	57店舗	56店舗	
期末配当(1株当たり)	27円	21円	

## 業績予想の前提

PB商品売上高構成比：30%

経費：電力料と投資の増加を想定

改装：18店舗を計画

(注) 荒利益率は売上高比

# 競争力のある、より強固な体質へ

1. EDLPの追求とEDLCの推進
2. PB商品の拡大
3. 改装による既存店の強化
4. DXによる市場変化への対応

# 1. EDLPの追求とEDLCの推進

## EDLPとそれを支えるEDLCをさらに強化

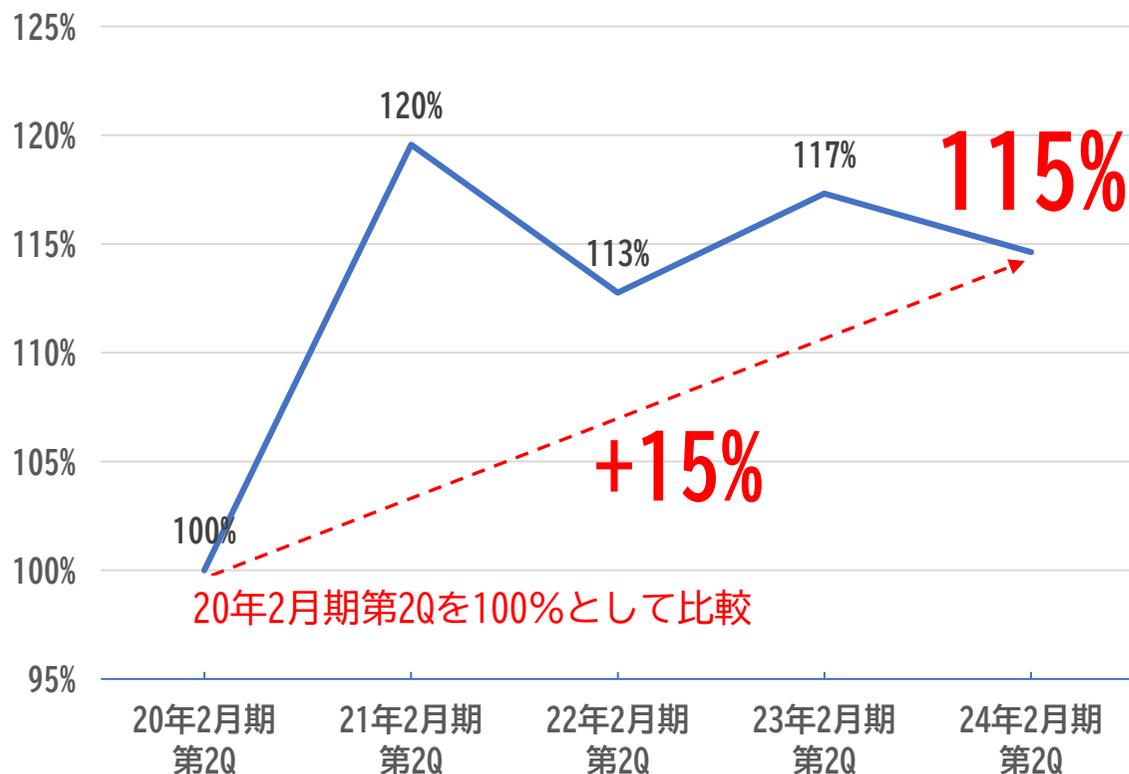
EDLP		<ul style="list-style-type: none"><li>・ NB商品値下げ企画は継続</li><li>・ 厳選した30品目を圧倒的な低価格で訴求し、1品大量販売を徹底<ul style="list-style-type: none"><li>➔洗濯洗剤や菓子などは売上高前年同月比2倍</li></ul></li></ul>
------	--	--

EDLC	<p><u>人時生産性の向上</u></p> <p>売上高に応じた 適正人員配置モデル の構築</p>	<p>売上高に応じた標準人時数を設定</p> <p>↓</p> <p>店舗作業を見直し、人時数6%削減計画 ・ マルチタスク、在庫管理の標準化など</p> <p>↓</p> <p>当期中に課題抽出と実験</p> <p>↓</p> <p>次年度第1Qまでに全店導入を計画</p>
------	---	--

# 1. EDLPの追求とEDLCの推進

- ・ 人時生産性※は、作業標準化でコロナ前（20年2月期第2Q）に比べ15%改善
- ・ 2025年2月期に全レジの8割をセルフレジへ（23年8月末時点は2割）

人時生産性の推移  
(各期第2四半期の実績を比較)



セルフレジの拡大

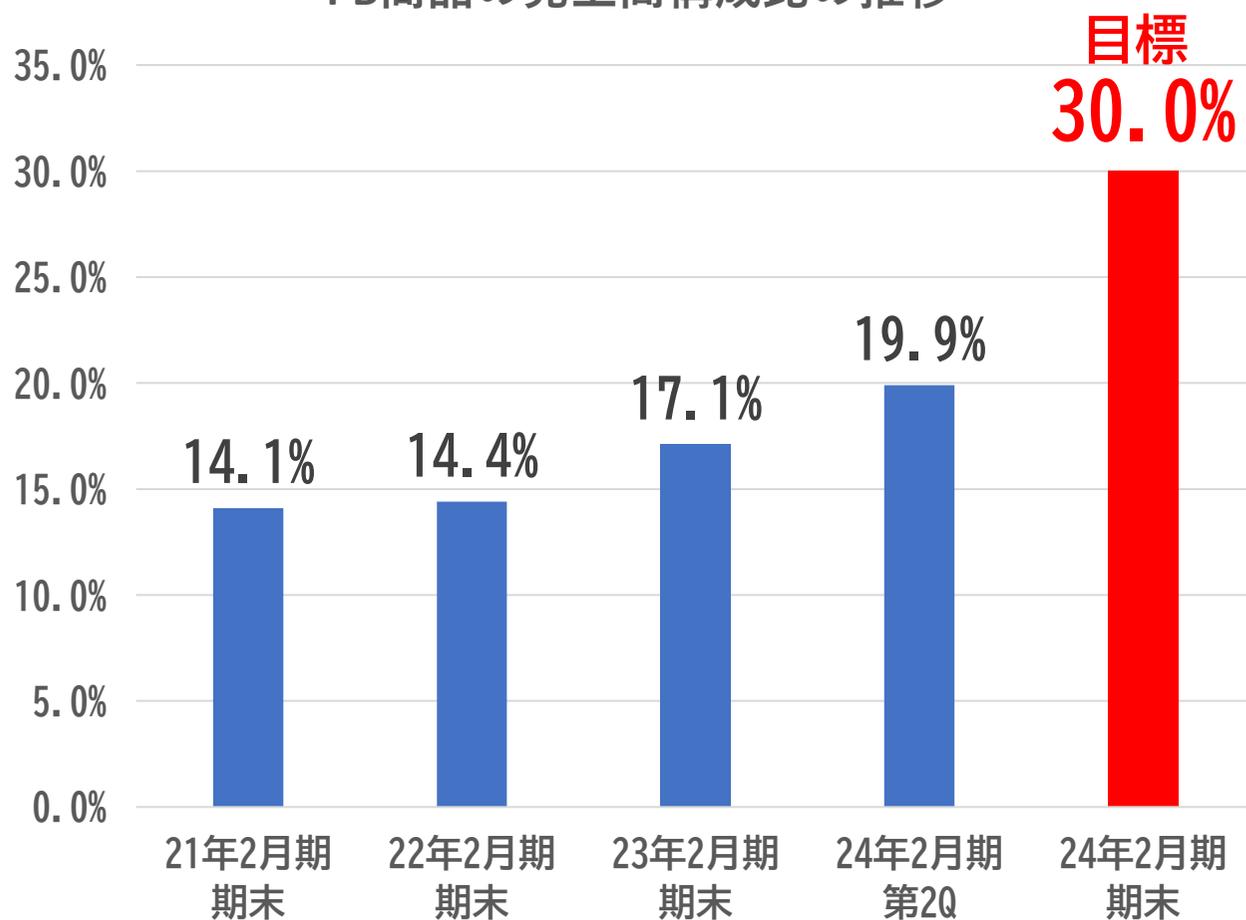


※人時生産性 = 店舗従業員が1時間あたりに稼ぐ荒利益高  
(荒利益高 ÷ 総人時数)

## 2. PB商品の拡大

- ・ 開発速度をさらに上げる
- ・ 環境配慮型商品の開発

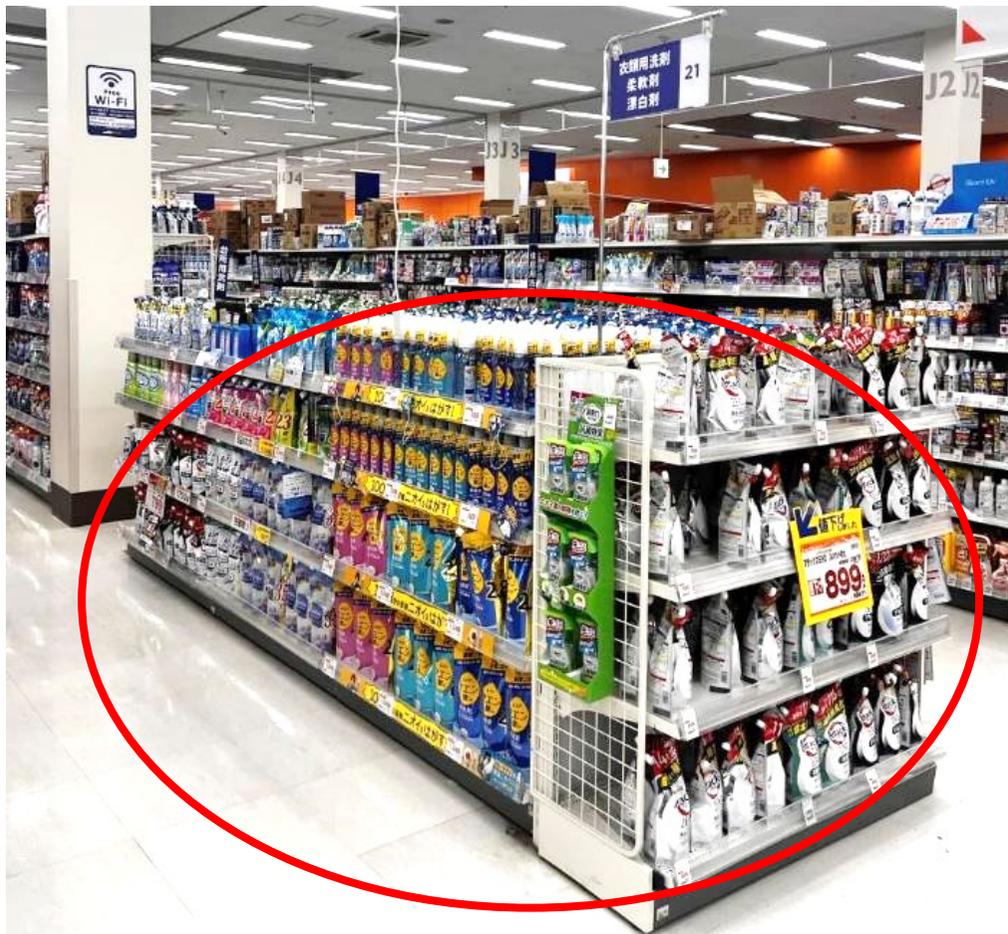
PB商品の売上高構成比の推移



### 3. 改装による既存店の強化

- ・ 前期に改装した大型店は、想定ほど売上が上がっていない。  
再度の改装を行い検証結果を踏まえ、大型店の改装に着手。
- ・ 計画18店舗の改装のうち、小型店の改装は進行中。

定番売場にお買い得商品を並べ売場を活性化



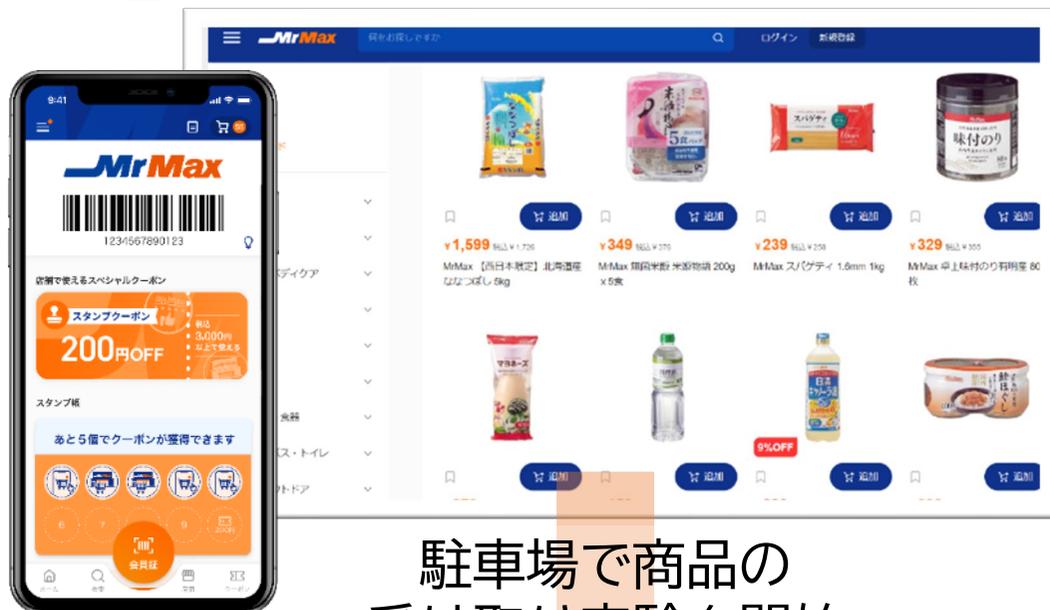
商品が見つけやすい、通路ごとのサイン



橋本店（福岡県福岡市）

## 4. DXによる市場変化への対応

オンラインストア、アプリ、  
店舗を組み合わせ、利便性を追求



駐車場で商品の  
受け取り実験を開始



## デジタル人材の育成



- データ分析ツールを使った効率的な分析業務の研修を9月から開始
- DXリテラシー教育を10月に開始

# サステナビリティ活動の状況

- ・ 設定した7つの重要課題（マテリアリティ）に対する取り組みを推進
- ・ 働きやすい労働環境づくり、地域社会への貢献、環境保全を目的に具体的な取り組みを展開

女性が活躍できる職場づくり

女性社員向け研修  
karoyaka

2023.09.15 第1回



地域社会への貢献



